

平成 31 年

第 1 回教育委員会会議録

(開会 平成31年 1月28日)

(閉会 平成31年 1月28日)

岐阜県可児市教育委員会

平成31年1月28日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

籠橋義朗君（教育長）

生駒隆昌君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

星野京子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

説明のために出席した者

村瀬雅也君（事務局長）

三品芳則君（学校教育課長）

豊吉常晃君（郷土歴史館長）

伊佐治 晃君（学校教育課主任指導主事）

渡邊謙吾君（学校教育課指導主事）

辻原詩織君（学校教育課学校支援係）

細野雅央君（教育総務課長）

川合 俊君（文化財課長）

玉野貴裕君（学校給食センター所長）

堀田 誠君（教育研究所主任指導主事）

牛江明美君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

石原雅行君（教育総務課総務係長）

圓藤 亨君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

議案第1号 平成31年度全国学力・学習状況調査の参加について（原案可決）

議案第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

教育長（笹橋義朗君） おはようございます。本年もよろしくお願いいたします。

それぞれの思いがあると思いますが、みんなで協力してやっていきたいと思いたいで、よろしくお願いいたします。

それでは開会いたします。

定足数につきましては、過半数を満たしておりますので、この会議は成立することをお願いいたします。

前回会議録の承認

教育長（笹橋義朗君） 2 番目、前回会議録の承認ということで、教育総務課長。

教育総務課長（細野雅央君） 前回、12月だけでなく、11月に行いました教育委員会会議、合計3回ございますが、いずれも変更はございません。

教育長（笹橋義朗君） では、変更なしということでお願いします。

教育長報告

教育長（笹橋義朗君） 次に、教育長報告ということで、1月6日の出初め式に出席してまいりました。例年どおり消防団の表彰と、それから市中行進と、またそれぞれの挨拶がございましたけれども、消防団においては、可児市の市民の生命・安全を守ってくれるということで、私のほうも出席し、市の部長以上が出席したということであります。

1月13日には成人式がございました。出席していただきましてありがとうございます。例年同じようなことを言うわけですが、毎年毎年、静粛に成人式が行われまして、5年前には中学校の3年生だった子供たちということでもあります。学校教育の当時の教育というか、学校の落ちつきというか、そういうものが成人式に反映されるということかなあと感じておりました。ほっと胸をなでおろしたところでもあります。

1月19、20日と小中美術展がありました。例年のように子供たちの作品が展示されましたが、特別支援学級のほうの作品展も行われまして、その中から、また a l a のほうで選ばれた作品については、エイブル・アート展に展示するということでもあります。見ていると、特別支援学級と普通学級の子供たちの作品、何ら遜色なく、あえて分ける必要があるのかなということを思った次第であります。また検討していきたいなあと思いたいます。

それから先週ですが、21日から23日まで丸亀市へ出張してきました。丸亀市が、近い将来、文化センター、文化会館を、市民会館を建設するというので、そのアドバイスのために、a l a の館長とともに行ってまいりましたが、御承知のように、丸亀市は丸亀城がありまして、これが築城したのが1597年、生駒親正が築城しました。この生駒親正は、信長が重用して秀吉の家臣になって、その後、丸亀のほう、高松のほうに行くわけですが、生駒親正の若いころの名前が土田甚助とあって、ツチダは土田と書きます。土田出身であろうということで、信長の母も土田御前というわけで、私なりに、どこかで血縁関係があるんだろうというふうに思っていますが、その可児出身の武

将が丸亀城を築城したということで、思わぬ可児と丸亀市との関係もありまして、ちょっと力が入りましたけれども、そこで丸亀市の教育長さんとも懇談をしまして、可児市で行われている、a1aと協力してコミュニケーション・ワークショップをやっているということと、その効用を詳細にお話しし、学校教育と文化・芸術との連携が、非常に子供たちの豊かな心の育成に資するのではないかというふうに思っていますということをお話してきました。また、これからも丸亀市とは、可児市の市長同士も懇談しておりますので、深い関係が今後でき上がってくるんだらうなあというふうに思っております。

以上、今月の教育長報告ということで終わりたいと思います。

教育委員報告

教育長（笹橋義朗君） 次に、教育委員報告ということで、星野委員、お願いします。

教育委員（星野京子君） おはようございます。ことしもよろしくお願いいたします。

それでは、報告させていただきます。

1月13日、成人式に出席させていただきました。この日は、本当に割と暖かく、成人式にふさわしい日だったなあということも思いましたし、本当に式のほうも静かで、穏やかないい式だったなあと思いました。またイベントのほうも、いつもとちょっと違ってクイズとか、このしおりを使ってのクイズとかで、会場の成人の皆さんも協力的で、とても楽しいイベントだったと思いました。本当に皆さんそれぞれ一人一人、それぞれの道を歩んでいってほしいなあということをお願いしました。

1月16日、可茂地区小中校長会研修総会の開会の行事のほうだけ出席させていただきました。可茂地区の校長先生、小・中学校全員で62名ということで、その総会の後に研修もされるということで、また可茂地区一丸となって、子供たちのため、先生方のためにいろいろやったださるんだらうなあということを感じました。

1月19日、小中美術展・特別支援学級作品展を見させていただきました。本当に毎年同じことを言うてしまうんですけど、子供たちの感性の豊かさに毎回感動して、本当に心豊かになって、本当にすがすがしい気持ちになる作品展・美術展だなあということを思います。それで、展示してくださるのは、先生方が早くから準備してくださるんだと思うんですけど、とても見やすく、きれいに展示されてあるので、本当にありがたいなあということをいつも思います。

1月26日土曜日なのですが、東明小のほうでスマイルフェスタという行事がありまして、ちょっと参加させていただきました。このスマイルフェスタの日は、保護者と子供たちが一緒に学校に歩いて登校してくるということと、授業参観、その後、体育館でPTA主催の行事をやるということなんですけど、ことしは、体育館のほうのPTA主催の行事は、「おおあめとぼくのゆめ」という防災のほうの関係の絵本を読み聞かせながら、舞台に大きなプロジェクターにその絵本を映しながら、読み聞かせボランティアの人がお話を進めながら防災の意識を高めるといような狙いがあったと思うんですけど、途中、子供たちに質問したりするんですけど、子供たちも積極的に手を挙げて、いろいろなその中で間違った行動とか、そういった点を指摘したり、親さんも一緒なので、

とても楽しそうな雰囲気、ほほ笑ましい状況で防災の意識を高めるような内容だったので、とてもよかったですと思います。

その中で、女性消防団員の皆さんが参加して、防災の注意点とか、大切なこととかをお話しされて、それがとってもいいなあと思ったんですけど、消防団の女性、制服と活動の制服がとっても格好いい。それで、最後に女性消防団員の方も、ぜひ皆さん入ってくださいということも言われまして、お母さん方とか、入りたいなあと思った人いるんじゃないかなあということを思いました。

私からは以上です。

教育委員（生駒隆昌君） 改めまして、本年度もよろしくお願ひいたします。

平成最後の年ということで、いろんな行事等もいつもとは違う様子になってくると思いますが、皆さんの協力でやっていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

1月13日、可児市成人式でしたが、私、インフルエンザになりまして欠席をさせていただきました。ケーブルテレビの放送等をちょっと見させていただいて、本当に和気あたたかかったとすばらしい成人式だったなということ、画面を通じても感じました。特に恩師の先生方が前に登場してお話をされたときに、中部中と言えば、本当に和やかな雰囲気で行っているなあというのがよくわかりましたので、本当によかったです。ことし成人になる子たちは、可児市のいじめ防止の授業が始まった当初の子で、いろんな意味で少し学校が荒れていたりする部分もあったんですが、そういった20歳になったときの姿を見て、すばらしいなあというふうに感じました。

1月18日、社会福祉協議会の可児市地区福祉活動計画というのに参加しました。3期計画が始まるということで、いろんな社会福祉のことを考えるということでしたが、私、少し意見を言わせていただいたんですが、やはり駅前のまのを子供たちや母親たちだけに使うんじゃないかと、社会福祉の面でも利用していただきたいなということをお話しさせていただきました。

1月19、20日、小中美術展のほうを見させていただきました。先ほど教育長も言われましたが、本当にすばらしい作品ばかりで、特に特別支援学級の生徒さんの作品を見ると、阿修羅の絵が描いてあったりとか、トカゲの絵なんていうのがありました。非常に細かく、本当に生きているトカゲがいるぐらいの描写で描いてあって、すばらしいなあというふうに思ひました。何ら特別支援だからといって、普通生徒だという垣根も越えて展示する必要はないのかなというふうにも思ひましたし、本当に子供たちがつくっている作品を同じ目線で見上げるのも一つの方法なのかなというふうにも思ひました。以上です。

教育委員（伊藤小百合君） おはようございます。ことしも1年間よろしくお願ひいたします。

1月13日、成人式、式典のみ参加させていただきました。20歳という人生の節目に当たって、来賓の方や成人の代表の人の話を聞きながらなんですけれども、自分も過ごしてきた中でいろいろ振り返る機会にもなり、いい話を聞けました。

1月20日、同じく小中美術展・特別支援学級作品展のほうに足を運んできました。地域の顔見知りの子供たちの作品も見ることができまして、よかったですと思ひます。また支援学級の中には、すごく手の込んだ細かい作品がすごく多くて、児童だったりとか、

生徒たちの、あくまでも想像なんですけれども、すごく集中して取り組んでいる姿などが感じられて本当によかったと思います。

短いですけど、以上です。

教育委員（丹羽千明君） おはようございます。ことしもよろしく願いいたします。

私も1月13日、可児市の成人式を見させていただきました。天気もよく、大変参加者も多くて華やかな式で、ことしはまた運営委員の方がいろいろ努力されたと思うんですが、内容もいろいろ変えてございましたので、工夫されている、その工夫が皆さんに、成人の人に伝わって、冷やかしというような声はほとんどなく、励ましの声のような声ばかりでしたので、大変温かい気持ちにさせていただきました。

式典が終わって帰られる来賓の方が多いのは仕方ないと思うんですが、その帰られるときにちょっとどよめきがあって、もう帰るのというような雰囲気がありました。来賓は最前列、2列とってあるわけですけども、それをちょっとサイドにするとか、余り目立たないような形で帰っていただくといいかなあというふうに、主役は成人の方なので、そんなふうに思いました。

それから、1月19日に可児市の小中美術展に私も行かせていただきましたが、どれも素晴らしい作品で、見に来られた方もすごく多くおられました。私も、特別支援学級のが2階にあって、たまたまかもしれませんが、そのとき私1人しか会場にいなかったと。下はいっぱいだったというようなことを感じましたので、一緒にするというのも考えていっていいんじゃないかなあと思いますし、ホワイエの部分を使って全部1階へ持ってくるとか、そんなこともいいんじゃないかなあというふうに思いました。

また、その日は、かに寄席が昼からございまして、駐車場にすごく2時から4時の間は困られたんじゃないかなあと思うんですが、日程も調整は難しいかとは思いますが、そういうふうに感じました。以上でございます。

教育長（籠橋義朗君） ありがとうございます。

出た意見につきましては、事務局のほうで今後の事務の参考にさせていただきたいと思います。

議事

教育長（籠橋義朗君） それでは、議事に移りたいと思います。

事務局長（村瀬雅也君） おはようございます。

お手元の会議議案でございますけれども、こちら見ていただきましたように、本日の議案は2件でございます。

議案第1号としまして、平成31年度全国学力・学習状況調査の参加についてということでございます。

議案第2号としまして、要保護及び準要保護児童生徒の認定ということでございますので、御審議をお願いしたいと思います。以上です。

教育長（籠橋義朗君） 本日の議案は2件でございます。

議案第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーにかかわる情

報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることの承認をいただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議ないようですので、非公開といたします。

それでは、議案第1号 平成31年度全国学力・学習状況調査の参加についてを議題といたします。

学校教育課長（三品芳則君） では、議案書1ページをごらんください。

議案第1号 平成31年度全国学力・学習状況調査の参加について。

平成31年度に実施される全国学力・学習状況調査の参加については、下記のとおりとする。平成31年1月28日提出、可児市教育長 籠橋義朗。

記、平成31年度全国学力・学習状況調査に参加する。

これにつきましては、文部科学省から示されている実施要領、それにつきましては別紙1をごらんください。

これに基づきまして、4月18日木曜日、小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語と算数・数学及び中学3年の英語、そして質問紙による調査に参加する予定でございます。以上でございます。

教育長（籠橋義朗君） ただいま説明をもらいましたが、御質問ございますでしょうか。

英語については、今回からですね。

学校教育課長（三品芳則君） はい。1点補足をさせていただきますが、英語の調査につきましては、従来、実力テストとか、そういったテストの中では、ヒアリングテストというものについてはずうっとやってきた経緯もあるんですが、今回新たに話すということについて調査を行うということでございます。その話すということにつきましては、先日、県教委のほうで説明会がございましたので、それにうちの堀田主任が参加しておりますので、どんな状況か、ちょっと簡単に御説明させていただきます。

教育研究所主任指導主事（堀田 誠君） 話すこと調査ですが、学校にある40台のパソコンに、問題自体は7分程度なんですけど、その7分程度の問題をマイクつきのヘッドホンをつけて、それに対して答えるという調査です。

実際に参加したんですが、自分もやってみたんですが、当初心配されていた、ちゃんと音が聞こえるのかとか、隣の音が邪魔にならないのかということも含めて、特に問題なくできそうだというふうに今話しています。

学校教育課長（三品芳則君） ただ、可児市内におきましては、蘇南中であるとか、中部中のような8クラス、9クラスある学校がございまして、パソコン教室は1教室分、40セットしかございませんが、文部科学省も、9クラス以上の学校においても、1時間で3クラス、15分程度を入れかえて行うというような対応を示してもらっておりますので、1時間で全てを終えるわけにはいきませんが、1日5時間、6時間の授業の中で、何とか交代をして対応していくというような状況で今想定をしております。何とかできそうであるという想定のもとに参加をさせていただければというふうに思っています。以上でございます。

教育長（笹橋義朗君） 御質問等はよろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、またこのテストの結果については、出たら、皆さんには御報告いたしますが、今回の新年度のテストについては、参加をするということで教育委員会の意思を決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

異議もないようですので、この件については原案どおりといたしたいと思います。よろしくをお願いします。

各課所管事項

教育長（笹橋義朗君） それでは、各課所管事項に行きます。

事務局長（村瀬雅也君） それでは、私のほうから1点だけ御報告いたします。

先週、1月23日金曜日、会計検査院第4局文部科学検査第1課によりまず会計実地検査がございました。担当者、それから技術調査官が可児市にお越しいただきまして、終日この部屋で検査を行いました。

検査の対象になったものが、1つ目に幼稚園の奨励費の補助金、それから2つ目に義務教育費国庫負担金の特に特別支援教育についてで、もう一つが、教育支援教育就学奨励費補助金について、あともう一つは文化芸術振興費補助金、これは主にa1aでの事業とか、そういったことについても終日見ていただきました。

細かな質問等もありましたけれども、特に課題となって、後日フォローが必要なことは一切ありませんでしたので、無事終了したということで、適正に処理されているということでございますので、御報告だけいたします。以上です。

教育総務課長（細野雅央君） 特にございませんが、あさって30日、総合教育会議を2時から行いますので、よろしく願いいたします。細かい打ち合わせは、この会議終了後に行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

学校教育課長（三品芳則君） では、報告と連絡を1点ずつお願いいたします。

まず1点目、中学校における部活動の運営についてです。

机上にも資料がお配りしてありますので、それもあわせてごらんください。

平成29年7月には、部活動のガイドラインにおいて、月の活動日数に制限をかけるような内容を各学校と保護者に通知をしております。その後、平成30年12月には、活動日数に加えて、活動時間も制限する改定を通知しております。それが資料で1枚お配りしてあるものでございます。

さらに、来年度に向けては朝練のあり方を検討し、原則廃止の方向で中学校長会と協議を進めております。それにつきましても、案というような形で一応文書をお配りさせていただいております。

一方で、もっと活動の場が欲しいというような生徒につきましては、市として、ジュニアクラブのような学校の枠を超えた活動の場を確保していくために、現在検討を開始しましたということもあわせて御承知おきください。部活動につきましては、以上でございます。

もう一点、事務連絡につきましては、平成30年度卒業証書授与式における告辞者につ

いてという依頼文書もあわせてお配りしてありますので、それぞれ委員の皆様にご出席いただく学校につきましては、このような形をお願いをいたしたいと思っております。

ただ、空欄のところにつきましては、ちょっと市長がどこの学校にご出席いただくかという部分が、まだちょっと調整ができておりませんので、市長と、あとは教育長、それから事務方の分のところがございますので、委員の皆様については、これで一応確定ということをお願いをいたしたいと思っております。以上でございます。

文化財課長（川合 俊君） 文化財課から来月の予定について1点御報告させていただきます。

2月の予定表をごらんください。

2月13日の午後になりますが、史跡美濃金山城跡整備委員会を開催します。整備委員会の主な議題としては、1月31日まで行われている史跡美濃金山城跡整備基本計画のブックコメントの対応についてとなります。

文化財課からは以上となります。

郷土歴史館長（豊吉常晃君） 同じく2月の予定表をごらんいただきたいと思っております。

前半につきましては、昔の暮らし体験、また美濃焼講座を陶芸苑で開催してまいります。

裏面のほうをごらんいただきたいと思っておりますけれども、2月22日から、荒川豊蔵資料館におきまして企画展を開催いたします。「豊蔵が愛した鎌倉、室町期のやきものの美」と題しまして、豊蔵が収集した当時の黄瀬戸や信楽の作品を展示しつつ、それらが豊蔵に及ぼした影響ということを追求するものでございます。

また、28日から郷土歴史館において、土人形を題材にしたミニ企画展というふうに予定しております。両館とも、展示がえのために臨時休館を行う予定にしております。チラシ等は、また次回の教育委員会会議で御提出させていただいて、紹介させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。

学校給食センター所長（玉野貴裕君） 全国の学校給食週間にちなみまして、1月30日にふれあい給食を開催させていただきます。御案内させていただきましたとおりでございますが、皆さん方に御参加いただく予定になっております。よろしく願いいたします。30日の11時40分から始めたいと考えております。

当日は、今渡北小学校が開催校でございますが、各クラスにお入りいただきまして、食材の生産者、それから調理を行っている調理員、それから今渡北小学校の学校に御支援くださっていただいている皆さん方にお集まりいただいて、児童とともに試食していただくということでございます。生産者の苦労や、学校給食の様子を皆さんにお知りいただきたいと考え実施するものでございます。

当日は、本当に寒いことも予想されますので、それぞれ暖かい格好で御参加いただきたいと思っております。よろしく願いします。以上です。

教育長（笹橋義朗君） 以上、各課の報告を終わりましたが、それぞれ御質問ございますでしょうか。

教育委員（生駒隆昌君） 学校教育課長にお尋ねします。

中学校における部活動の運営についてですが、こういうふうになってきているとい

うか、こういう流れになってきているとは思いますが、学校側からの意見もあると思いますし、先ほどもありましたが、生徒さんのほうも、どういうふうにしていきたいということも多少なりともあると思いますので、先ほどちょっとやり方を変えてというようなお話もありましたが、子供たちもやっぱり夏休みなんかだと、やっぱり中体連の前とかになってくると、やっぱり一生懸命やりたいという部分もあるし、先生方が考えているように、2時間で終わるとか、いろいろそういったこともなかなか難しくなってくると思いますので、やはり最初の考え方としては、子供たちがどんなふうにやりたいかということをもまず一番にというか、そういうところを考えていただいた上で、またちょっと議論をしていただいて、考えていくというふうな場というか、期間をつくっていただけるといいかなあというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

学校教育課長（三品芳則君） ただ、文部科学省からも示されているように、部活動そのものにつきましては、一応可児市として、教育委員会事務局としては、チャンピオンスポーツを求めるものではないと。子供たちの人間関係であったりとか、自主的な部分を尊重していくんだというところの線は絶対外さないようにはいきたいなあというふうには考えております。そういう中で、子供たちの欲求も満たせるようにというふうなところで考えていきたいと思ひますので、また今後、検討を重ねてまいりたいと思ひております。

教育委員（生駒隆昌君） よろしくお願ひします。

教育長（籠橋義朗君） 今まで土・日はどっちかにしなさいとか、今回のように朝練なしということで、だんだん少なくなってきて大丈夫かという声も必ず予想されます。

この朝練については、時期が新年度、中体連後ぐらいにしようかなあということは思ひますし、特別として、大会直前とか、そういうときには、それは認めていきたいなあとは思ひております。ただ全体としては、部活というか、スポーツ、文化系も一緒なんですけれども、学校だけに任すのではなくて、可児市には文化関係、体育関係、ちゃんとした団体がありますので、そこと協議しながら、子供のスポーツ環境は、その子に合った環境をつくっていくということを今まだ協議中でありまして、来年1年、または2年かかるかもしれませんけれど、そういう環境をつくっていききたいということで、決して少なくなるだけではないということは御承知いただきたいなあと思ひます。

教育委員（生駒隆昌君） 教育長言われたみたいに、本当にただただ減らしていくという考え方じゃなく、子供たちがそういったスポーツ等に携わる時間をつくっていくこともやっぱり必要になってくると思ひますので、先ほど教育長言われたみたいに、いろんな団体も、UNICもあったり、いろんなことがありますので、そういうところと協力し合いながら、考えて協議していつていききたいなあというふうに思ひますので、また今後ともよろしくお願ひします。

教育長（籠橋義朗君） ほかはよろしかったでしょうか。

教育委員（星野京子君） 関連して部活のことですけど、割と保護者の方の中には、今後、部活動の時間が、やはり土・日のうちの1日とか、いろいろ減っていくということ割と早くから皆さん知っていて、それに応じてスポーツクラブのほうに入ったり、学校のほうの部活は違ったものというか、それなりに練習をそんなにしなくても

いいあれに入るとか、何かそういうことをもう考えていらっしゃる親さんがたくさんいると聞きましたので、またきっこういうことをやることによって、いろいろまた課題が出てきたら、その都度、今、教育長が言われたように考えていただくといいかなあということを思いました。

教育長（笹橋義朗君） これ、全員参加って、ここには書いていないね。

学校教育課長（三品芳則君） 学校における中学生の部活動への参加につきましては、所属につきましては、来年、この4月以降は、どこの学校も全員参加という枠は外そうということも今検討されております。それは各学校の対応ですけれども、市で統一ということではございませんが、自由参加と、所属しない子があってもいいというような学校もあるようでございます。

教育長（笹橋義朗君） ほかのことでいいですが、伊藤委員、よかったですか。

教育委員（伊藤小百合君） 今、うちの息子がちょうど中学生で、部活をやっているんですけど、やはり部活の時間が少ないので、朝練ももちろん短い時間ですけど、ほぼ毎日、そういうテスト期間とか、関係ないときは行っているんですけど、多分これを聞いたら、ちょっとショックを受けるかなあという気持ちも一応正直なところ... ..。でも、学校全体がそういうふうになっていくのであれば、それはその意向に従っていくことも大切だと思いますので、先ほどからもお話が出ていますが、子供たちの意見も尊重しながら、学校のほうで対応していただけたらいいのかなあというのは思っています。以上です。

教育長（笹橋義朗君） 丹羽委員、ほかのことでいいですが。

教育委員（丹羽千明君） じゃあ、関連して部活動ですけど、体育会系じゃなくて、吹奏楽とか、そういった熱心で、朝練、土・日もしたいというような希望も聞くんですけども、文化系も含めて朝練はしないという方向でよろしいですか。

学校教育課長（三品芳則君） はい。

教育委員（丹羽千明君） わかりました。

教育委員（生駒隆昌君） あと、ちょっと中教審のほうからいろんな報道の中で聞いたことですが、今、教員の業務というのと、大きく分けて学校の業務というふうに、今は何かそういう流れでいろんな記事とか、そういった報道がされているわけですけど、教育委員をやってあって、そんなことを聞いてはいけないと思うんですけど、学校の業務、教員の業務というふうなくくりという考え方というのはいいのかというか、ちょっと理解ができない部分もあるんです。学校がやらなきゃいけないという業務と教員の業務って、同じだと思っていたんですけど、それをやっぱり今は分けるような、こういう教員は給食の指導をしたりとか、子供たちに授業を教えると、学校の業務というのはもっと違う部分であるというような、何かそういうくくりになってきているような報道をちょっと聞いたりするんですけど、そこら辺はどうなんですかね。

教育長（笹橋義朗君） 例えば僕の頭の中に思っているのが、もちろん授業は先生ですけど、学校の中の掃除は先生の仕事かと。役所なんかは、掃除するために委託業者でやっているんですけども、掃除は先生の仕事かとかというくくりとか、今度は学校じゃない、登下校の見守り、先生が見ていますよね。あれ、出る必要ないと言えない。地域の人に、また保護者に見守ってもらうと。そうだろうなあと思うんです

けど、それが今定着している中で、どういうふうに変えていくのかという非常に難しいところですね。文科省の中で分かれているんですけど、今言われた学校で先生が行うもの、学校が行うもの、それ以外のものというくりがありますので、またそれはちょっと事例があるので、それ一回配ってください。紹介してください。

教育委員（生駒隆昌君） 本当に部活動とか、いろんなことの中では、やっぱりだんだんそういうところがわからなくなってしまうというか、混乱する部分が出てくるので、自分の頭の中で一応整理はしたい。学校の業務とか、学校以外の業務、先生の業務という、何かそういうのを一回ちょっと整理させていただけると少しありがたいなあというふうに思いますので、済みません、この場ではないのかもしれませんが。

教育長（籠橋義朗君） それを含めて、時間外勤務が45時間というふうに言われると、これはとてつもなく厳しい枠組みなので、全国的にこれ、僕がそんなことを言っちゃあいけません、非常に高いハードルですが、どこもそれを目指すというか、現状は少しでも改善する努力は全国的にされていくはずですので、可児市もおくれないように、笑顔の学校のために、先生の負担を軽くしていくということは進めていきたいと思しますので、よろしくをお願いします。

私のほうからちょっと御紹介ですが、今回の「a l a T I M E S」の3月号に、最後に毎回ありますように、館長エッセーというのがあります。いつも館長と私が話す機会があって、こういう話をしています。認知能力と非認知能力という難しい言葉が言っていますが、要は、教科学習とそれ以外の、部活も入ったそれ以外のもので、それ以外のものが、これから生きていくためには必要であるということが上手に書いてありますので、ぜひ終わってから、これを読んでいただきたいと思います。私自身もこのとおりだと思っておりますので、また参考にさせていただきたいなあと思しますので、よろしくをお願いします。紹介をいたします。

委員からの提案協議事項

教育長（籠橋義朗君） それでは、各委員からの提案協議事項について行います。提案協議ございましたら、お願いしたいと思います。

教育委員（生駒隆昌君） 先ほどの部分を提案協議ということにさせていただきたい、学校の業務の。よろしくをお願いします。

教育長（籠橋義朗君） 学校の業務ね。それは、じゃあ事務局のほう、よろしくをお願いします。

教育委員（星野京子君） じゃあ、もう一つついでに。

ちょっと違う方向なんですけど、学校給食で、こうやっていろいろ時代が変わってきてなんですけど、本当に給食の献立って、一生懸命考えちゃって、可児の給食は本当にすばらしいなあというものがあって、例えば12月の、今1つしか思い浮かばないんですけど、年越しのおかずというのが必ず出るんですね。それって、可児というのは、私も可児に住んでからなんですけど、31日はイワシの丸干しを食べて、その年越しのおかずを煮てというふうなことが続いているんですけど、やはりそれも、だんだん各家庭ではおじいちゃん、おばあちゃんと住んでいるおうちも少ないでしょうし、よそから来た方も多いので、減ってはきているんですけど、給食ではちゃんと残ってくださっていて、

本当にありがたいなあということを書いて、そのこともすごくうっと書いていただいて、栄養士の先生からとか、そういう行事ごとにいろいろ給食も考えてくださって、五平餅とかもそうですよね。あれも早くから来て準備されて、すごく大変なことなのに、給食では一生懸命やってくさって、そういう伝統というか、食の可児の文化といひますか、そういうのもすごく大切にされているので、可児市の給食は。そのところはうっと続けていってほしいなあということを書きますので、またちょっと提案とは違ひますけれども、一つお願いなんですけど、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長（籠橋義朗君） 食の文化というのは非常に大事だし、知らない保護者もふえてきているので、本当に大事だということは我々も思っています。給食調理、管理については、これからちょっと、また区切りが来ておりますので、そういうものは変更になっていくことになると思ひますが、内容については、当然、栄養士等の体制は変わらずです。今御提案があったようなことは必ず続けていくことにしたいと思ひますので、よく見ておってください。

教育委員（星野京子君） よろしくお願ひいたします。

教育長（籠橋義朗君） 学校教育課長、この教育評価のまとめについては。

学校教育課長（三品芳則君） 一言だけでよろしいですか。

じゃあ、教育研究所の堀田がちょっと説明をさせていただきます。

教育研究所主任指導主事（堀田 誠君） 別冊の平成30年度の教育評価のまとめをごらんください。

昨年度までは、7月と12月にそれぞれ行っていたんですが、今年度から働き方改革の一環という形で、12月に1年をまとめてという形で学校評価のほうを各学校のほうでしていただきました。それがデータとして載っているのですが、ずうっと行って、数字が書いてあるページなんですけど、1ページから各観点ごとの評価結果について書かれていますけど、概略だけ説明させていただきます。

2ページの道徳教育をごらんください。

小学校のほうで、道徳科のほうが今年度から評価されましたので、例年に比べて、非常に道徳への意識が高くなったというのがここからもわかると思ひます。

その下の生徒指導や、続いて5ページの組織運営にかかわるところですが、非常に校長先生を中心とした組織という点で生徒指導を行ったり、組織で学校運営を行うという点において、非常にそういう意識が高かったことが今年度上げられます。

続いて4ページですが、特別支援教育ですが、例年、非常に高い数値を示しています。特別支援教育に関しては、本当に可児市は個に寄り添うというテーマのもとで、非常に特別支援教育に関して、支援学級の先生だけじゃなくて、通常学級の先生も理解が非常に深まっているという点において高い数値が示されています。

今後ですが、この学校評価を受けて、現在教育課程の編成等が行われて、来年度の方向をという形で各学校のほうから提出させていただきます。3月末の教育委員会会議のほうでまた提案させていただきます。以上です。

教育長（籠橋義朗君） また、それじゃあ3月に報告されると。

教育研究所主任指導主事（堀田 誠君） はい。来年度の方向という形のものが出てきます。学校ごとです。

教育長（籠橋義朗君） わかりました。

その他

教育長（籠橋義朗君） それでは、この議題はここまでいたしましたして、その他でございます。

次回の日程等について。

教育総務課長（細野雅央君） 2月の教育委員会会議につきましては、18日月曜日午前9時から、場所はここと同じ4階の第3会議室でございます。

それから3月ですが、年度末になりまして、非常に行事等が立て込んでおる関係で、事務局のほうからの提案は、3月26日火曜日2時を提案させていただきたいと思うんですが、皆さん、どうでしょうか。

教育長（籠橋義朗君） いかがでしょうか。3月25日が小学校の卒業式がありまして、月曜日。26日は修了式ですが、その火曜日、26日いかがでしょうか。

〔「大丈夫です」の声あり〕

大丈夫でしょうか。2時からです。

じゃあ、26日の14時から。

教育総務課長（細野雅央君） よろしいですか。それでは、3月26日2時ということをお願いします。

それから、例年やっています人事の内申の議案ですが、3月5日2時で、あわせてよろしくをお願いします。

教育長（籠橋義朗君） 会場は、教育長室でやります。

それでは、日程については今のとおりといたしますので、よろしくをお願いします。

では、ここで休憩を10時5分までお願いしたいと思いますので、休憩いたします。

（文化財課長、郷土歴史館長、学校給食センター所長退席）

休憩 午前9時54分

再開 午前10時05分

教育長（籠橋義朗君） それでは時間となりましたので、会議を再開いたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

教育長（籠橋義朗君） それでは、ないようですので、これにて教育委員会会議については終了といたします。ありがとうございました。

閉会 午前10時48分